

新型コロナウイルス感染症との闘い！

成田空港の回復見通し立たず、
厳しい状況!!



コロナ禍の影響が直撃している成田空港は大変厳しい状況にあります。5月の航空旅客数は8万9,640人(前年比98%減)となりました。6月には国際線でビジネス旅客を対象に一部地域の出入国が緩和されたことや、国内線でLCC各社が運航再開や新規路線の就航を発表するなど、若干の回復が見られたものの、7月の速報値では29万1,667人(93%減)と依然として回復の見通しは立っていません。

7月にはGoToトラベルも実施され航空需要の喚起が期待されましたが、感染者数が再び増加傾向に転じたことなどから、旅行を控える動きが広がり予約キャンセルが相次ぐなど、8月の夏季繁忙期の全国の国内線航空旅客数は、前年比65パーセント減と低調に推移し、10月以降も航空各社は、再び減便を余儀なくされています。

このような中であっても第三滑走路などの空港機能強化は推進されますが、終息時期が不透明なことから、引き続き注視してまいります。

入国制限の
緩和

と同時に

成田空港の
水際対策の
強化

を！

現在、入管法(出入国管理及び難民認定法)により入国拒否対象地域から帰国する日本人に対し「抗原定量検査」が実施されています。空港内の待機スペースで検査結果を待ち、陽性の場合には医療機関や国・県が指定した感染症宿泊施設等に搬送され、隔離されます。

また、陰性の場合や入国拒否対象地域以外の地域から帰国された日本人は、ホテルなどで健康観察が要請されます。

(入国前14日以内に入国拒否対象地域に滞在歴がある外国人は入国拒否)

国の指定により東横イン成田空港店、マロウドインターナショナルホテル成田などでは、PCR検査の結果が判明するまでの一時待機者を受け入れているのですが、厚生労働省によると、抗原定量検査の導入により結果が判明する時間が短縮されたため、利用者は毎日数名から10名程度とのことです。

また、県が指定した感染症宿泊施設である成田ゲートウェイホテルでの宿泊療養者は、280室のうち2割程度が利用されているとのことでした。

今後、国は出国者に対してPCR検査を実施するセンターを設置するとしています。出入国制限の緩和と検疫体制の強化は表裏一体であることから、国・県と連携して対策を講ずるよう情報連携を求めています。

コロナ禍における迎春対策と冬への備え。

WAVE

Shingo Amamiya Narita City Report

Vol. 54

成田市議会議員

雨宮しんご

9月定例会議が閉会しました。わが市においても新規感染者数が徐々に増加傾向にあり、冬に備え一層気を引き締めていかなければならない状況です。一般質問では「新型コロナウイルスとの闘い」について広範にわたり論陣を張り、市行政に積極的な対応を求めてまいりました。内面で詳報させていただきます。

この間、安倍首相が辞任され、新たに菅義偉首相が誕生しました。新政府には、成田空港の出入国制限の緩和に伴う水際対策の強化や治療に当たっている医療体制の堅持、それに速やかな情報提供などを引き続き求めてまいります。

また、この9月から関東8都府県で構成する「関東若手市議会議員の会」の会長を仰せつかりました。地域から日本を変え、るための運動を同世代の仲間たちと展開してまいります。



ニューノーマル
に向けて



内面で詳報しておりますが、時々刻々と変わる感染状況などについて雨宮しんご公式ホームページやTwitter、Facebookなどで即時発信しています。是非、チェックください！



www.ama-shin.net

雨宮しんご 検索

雨宮真吾事務所

〒286-0018 成田市吾妻 3-48-28
TEL : 0476-27-5918/FAX : 0476-37-7608

- 1978年10月31日(41歳)
- 成田市議会議員(4期)
- 明治大学大学院 修士
- 議会運営委員会 委員長
- 空港対策特別委員会
- 建設水道常任委員会
- 一般社団法人 成田青年会議所08
- 成田商工会議所青年部 副会長
- 全国若手市議会議員の会
- 関東若手市議会議員の会 会長
- 日本サーフィン連盟公認インストラクター

新型コロナウイルス感染症対策を求める決議が

全会一致で 可決!



その後、決議をご覧あれ!

感染拡大の収束を見通すことができない現状を受けて論陣を張った一般質問でしたが、当局の答弁は、あまりにも保守的と言わざるを得ない内容でした。(マンガ参照)ですがその後、市民のみなさんの不安を払拭するためのより一層の支援策を講じるべきとの機運が議会内で高まり、主に以下4項目について取りまとめ、全会一致で決議されました。

- 1 インフルエンザ予防接種の助成制度の拡充
- 2 PCR検査の拡充
- 3 全国から安心して参詣に訪れることができる迎春対策
- 4 地域医療対策会議(成田市医師団、成田赤十字病院、国際医療福祉大学成田病院等)の設置

「決議」に法的拘束力はありませんが、政治的な影響力を発揮します。

引き続き、市民の命と生活を守るための施策の実施を求め、鋭意邁進してまいります。

新型コロナに伴う工事遅延で、延期相次ぐ

大栄みらい学園の開校延期へ

令和3年4月の開校を目標に整備が進められていた「大栄みらい学園」はコロナ禍の影響により工事完成が令和3年5月頃となるようです。これにより、4月から予定していた大栄みらい学園での義務教育学校の開始は、3月に閉校予定の大栄地区の小中学校舎を活用し、1年生から4年生までは津富浦小学校、5年生から9年生までは大栄中学校の校舎において、施設分離型の義務教育学校として学校教育を開始していくことになりました。

新市場の開場も延期へ



令和3年夏ごろの開場を目標に整備が進められていた「成田新市場」においても、工事の進捗に影響が出ているとの報告がありました。

また、移転予定の場内事業者の方々においても、コロナ禍により、新市場への移転準備などが思うように進んでいないといった声もあるなど、全体としての影響を考慮し、開場を来年秋ごろから再来年1月頃に延期となりました。

地域経済を守るため、日本一感染防止対策を講じた迎春対策を!



一般質問に登壇したのですが、正直、成田市の迎春対策には不満が募りました。

成田山新勝寺の初詣は、300万人もの参詣客が訪れる市最大イベントだよな

はい。全国的な注目も集めるなか、特に来年はコロナ禍での迎春となるため万全の態勢が不可欠です。

もし何かあったら大変! どうでしょう...

店舗には個性や都合があり情報量や企業体力も違います。対策を個店任せにすると差が生じ、逆に感染拡大を引き起こす要因にもなるため、以下を提案しました。

- 店舗従事者へのPCR検査など費用補助金の創設
- 市独自の迎春時感染防止対策マニュアルの策定
- 日本一感染防止対策を講じた観光地として市独自の認証制度の創設

私は、コロナ禍での参詣客のおもてなしは、まち全体として共通の対応を講じるべきだと考えています。

うんうん。具体的には?

なるほど! 「従業員の感染防止対策は?」という心配を払拭し、さらに、どのお店でも同じ対応を講じることで、参詣客への「おもてなし」に「安心」をプラスするのにか!

そのつもりだったのですが、市は何一つやらないとのことでした。

残念...

えええ! それじゃあ、どんな対応をするの?

今回の質問で引き出したことは...

- ★ 混雑期を避ける「分散参詣」をお願いする
- ★ 厚労省アプリ「COCONO」の啓発
- ★ 参道での検温器の設置など

がっかりです

観光を守ることは地域経済を守ることに必要なのね...

はい! もちろん積極的な誘客ははばかられますが、それでも参詣される方は大勢いらっしゃるはずですよ。来て下さったお客様には喜んでお帰りが成田の責務だと思っております。

コロナ禍での迎春対策は、今、お客様が求めている「安心」を街全体として提供すべきです。引き続き、限られた財源の中で最大限の対策を求めています。

地域経済のためにも頑張ってください!